

子どもたちの本音を引き出す ICT機器を利用した教育支援ソフト「きもち日記」を開発。

教育学部
坂井 聡 教授 + 宮崎 英一 教授
さかいさとし みやざきえいいち



株式会社富士通と共同開発した教育支援ソフト「きもち日記」

坂井聡研究室と富士通との共同開発で、子どもたちの気持ちを、より理解できる教育環境を実現。

あなたが子どもだった頃を思い出してみてください。今日の学校は楽しかったですか?と尋ねられて、どのように答えていたでしょう。家族や親しい人に聞かれたら本音と話していたかもしれませんが、学校の先生や知らない人だと本当は楽しくなかったとしても、「楽しかった。」と答えていたのではないのでしょうか。香川大学教育学部「坂井聡研究室」では、思わず答えてしまったり、自分の気持ちをうまく伝えられない子どもたちの本音を、ICT機器を使って気軽に引き出すソフト「きもち日記」を、株式会社富士通と共同で開発しています。

研究室と富士通との関係は深く、2014年には富士通の教育支援ソフト「キッズタッチシリーズ」を坂井教授・宮崎教授のグループと共同開発。その年のグッドデザイン賞とキッズデザイン賞を受賞しました。また、富士通がAndroidスマートフォン用のアプリとして提供している「特別支援スマホアプリ タイマー・絵カード・筆順・感情」は、ベースとなるアプリを富士通が開発し、坂井教授・宮崎教授が中心となって、その有効性を教育現場で実証実験し、機能や操作性を改善しました。実験の結果に基づき、筆順アプリケーションのなぞり書きを追加したことで、書字の誤りが減少し、書字に対する自信や意欲が向上。また感情アプリケーションを導入したことで表現の幅が広がり、従来はどのような場面でも「楽しい」と言う表現しかできなかった子どもが、「疲れた」や「嬉しい」など適切な感情表現ができるようになったといった効果が得られました。

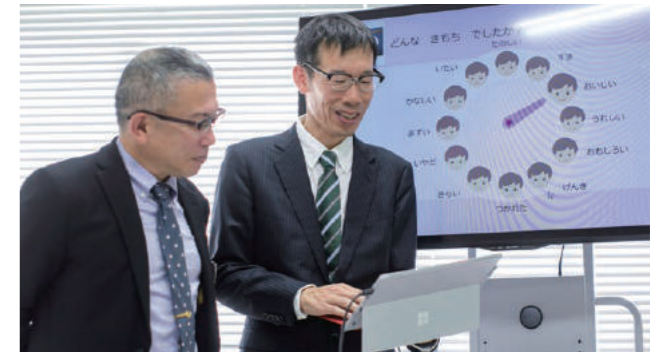
現在開発している「きもち日記」は、上記の感情アプリがベースとなり、より感情が見える化できるよう、研究・開発されています。坂井教授が、感情を正確に見える化するための選択肢の数や選択方法、関心度や理解度などを様々な観点から検証し、宮崎教授がインターフェイスやアイコンなど、子どもたちにも親しみやすいソフトとして具現化するといった、二人三脚での開発がおこなわれています。



学生たちに「きもち日記」を使った授業風景をレクチャーする坂井教授。

子どもの行動を理解するためには、子どもの気持ちを、まず理解しないといけない。

そもそも、坂井教授は学校で教師をしていた経験があり、香川大学教育学部の教授としては異例の経歴の持ち主。それゆえに、卒業後は教師として教壇に立つであろう学生のため、そして、何よりも子どもたちのために教育支援ソフトの開発に携わってきました。「例えば、よく問題を起こす子どもがいたとして、その子がどうしてそのような行動をしてしまうのか。それを解決するには、その子がどのような気持ちになり、行動に移してしまったのかを理解する必要があります。そのためには、子どもたちの感情をわかりやすくICTで見える化するすればいいのではないかと考えました。」と坂井教授。「今、子どもたちがどのような気持



息がびつたりの坂井教授と宮崎教授。これからも二人三脚での開発が続きます。



これからの教育の一翼を担う
研究を行なっていきたい。

宮崎 英一 教授

教壇にたった経験を活かし、教育に役立つ研究開発を。

坂井 聡 教授

ちかをフリーアンサーで聞いたり、書いてもらったりするのではなく、子どもたちが興味を持っているICTを利用して、いつ、誰が、どこで、どのような気持ちになったのか。その気持ちを数字で表すと、いくつぐらいになるのかなど、より具体的に子どもたちの感情を引き出しています。」また、宮崎教授も、「今まで見えなかった子どもの本当の感情がICTを利用して引き出したことで、ある児童の問題行動が減ったという報告が実際に現場から上がってきています。」と、その効果に期待しています。

今後の抱負を坂井教授に尋ねると、「そもそも「きもち日記」は、日記を書けない自閉症や知的障害を持った子どものために開発したソフトですが、実際に教育現場で使ってみると、友達やクラスメイトの気持ちを理解させるためにも役に立つと思いますので、道徳の授業などでも使ってもらえるのではないのでしょうか。」と話してくれました。来年度にはすべての検証を終え、富士通より製品化される「きもち日記」。教育現場に新しいイノベーションを起こすかもしれません。



教育学部の学生たちが「きもち日記」を使って実際の現場で授業をし、改善点などを検証しています。

坂井教授&宮崎教授の主な受賞歴

- キッズデザインアワード2017
- IAUD アワード 2014金賞
- グッドデザインアワード2014
- キッズデザインアワード2014
- 第7回キッズデザイン賞
- グッドデザインアワード2011
- ユニバーサルデザインアワード2011



《研究シーズ活用のご相談は》
香川大学 社会連携・知的財産センター

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20
TEL.087-864-2522 FAX.087-864-2548

本学研究者の研究成果は、HPより確認できます。

www.kagawa-u.ac.jp/ccip/

